

# 第1学年国語学習指導案

平成16年 月 日  
授業者 大門 雅子

< 1 > 単元名 こえに だして よもう  
教材名「くじらぐも」

< 2 > 指導の立場

- (1) 単元について
- (2) 児童の実態
- (3) 指導に当たって
- (4) 研究主題に関わって

< 3 > 単元の目標

## 1 学習指導要領

### 第1学年及び第2学年の内容

C読むこと(1)ウ 場面の様子などについて、想像を広げながら読むこと。

エ 語や文としてのまとまりや内容、響きなどについて考えながら声に出して読むこと。

B書くこと(1)エ 事柄の順序を考えながら、語と語や文と文との続き方に注意して書くこと。

単元名 「くじらぐも」

### 単元目標

- ・雲のくじらと会話をする様子を想像しながら、楽しそうに読もうとする。(関心・意欲・態度)
- ・くじらぐもの中の子どもたちになりきって、場面の様子を、想像を広げながら読むことができる。(読むこと)
- ・語や文としてのまとまりや内容、呼びかける声の大きさなどを考えながら、声に出して読むことができる。(読むこと)
- ・くじらぐもへの手紙を想像を広げて書くことができる。(書くこと)
- ・くじらぐもに宛てたお手紙を、主述の整った文型や文末に気を付け、正しく美しい文字で書くことができる。(言語事項)

## 3 単元の評価規準

	ア 国語への関心・意欲・態度	ウ 書く能力	エ 読む能力	オ 言語についての知識・理解・技能
内容のまとまりごととの評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・易しい読み物の内容の大体をとらえたり、自分なりに想像を膨らませたり、声に出したりしながら楽しんで読もうとしている。</li> <li>・相手や目的を考えながら、事柄を集めたり簡単な組み立てを考えたりして文章を書き、読み直そうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や目的を考えながら、書いている。</li> <li>・自分の考えが明確になるように簡単な組み立てを考えている。</li> <li>・事柄の順序を考えながら、語と語や文と文との続き方に注意して書いている。</li> <li>・文章を読み返す習慣を付け、間違いなどに注意している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら気に入った易しい読み物を読んでいる。</li> <li>・時間や事柄の順序に着目し、内容の大体を読んでいる。</li> <li>・場面や事柄のまとまりなどについて、叙述に即して自分なりに想像を広げながら読んでいる。</li> <li>・声に出して読んで、語や文としてのまとまりや内容、響きなどについて感じたり考えたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平仮名及び片仮名を正しく書き、読んでいる。</li> <li>・既習の漢字を読んだり書いたりしている。</li> <li>・文の中における主語と述語との関係を理解したり、関係に注意して書いたりしている。</li> <li>・はっきりした発音で読んでいる。</li> <li>・言葉遣いに気を付けて読むとともに、敬体で書かれた文</li> </ul>

				章などの文体を意識している。
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりに想像を膨らませたり、声に出したりしながら楽しんで読もうとしている。</li> <li>・相手や目的を考えながら、事柄を集めたり簡単な組み立てを考えたりして文章を書き、読み直そうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や目的を考えながら、書いている。</li> <li>・事柄の順序を考えながら、語と語や文と文との続き方に注意して書いている。</li> <li>・文章を読み返す習慣を付け、間違いなどに注意している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面や事柄のまとまりなどについて、叙述に即して自分なりに想像を広げながら読んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くじらぐもに宛てた手紙を主述の整った文型や文末に注意して書いている。</li> </ul>
単位時間における単体の評価規準	<p>自分なりに想像を膨らませたり、声に出したりしながら楽しんで読もうとしている。</p> <p>相手や目的を考えて手紙を書こうとしている。</p> <p>「くじらぐも」と遊んで楽しかった場面を見つけようとしている。</p> <p>簡単な組み立てを考えて文章を書いている。</p> <p>読み直し、丁寧に仕上げようとしている。</p>	<p>お別れした「くじらぐも」は今頃何をしているか思っているかを想像し、お礼のお手紙を書くことに興味をもつことができる。「くじらぐも」と楽しかった場面を絵で表すことができる。</p> <p>描いた場面の絵にもとづいて、手紙を書くことができる。</p> <p>書いた手紙を読み返して完成することができる。</p>	<p>「くじらぐも」のお話を聞き、興味を持って読もうとすることができる。</p> <p>「くじらぐも」の設定及び話の流れをつかむことができる。</p> <p>「くじらぐも」と子どもたちの体操場面を動作化しながら読みとることができる。</p> <p>「くじらぐも」と子どもたちが呼び掛け合う場面を動作化しながら読みとることができる。</p> <p>子どもたちが雲のくじらに飛び乗ろうとする場面を動作化しながら読みとることができる。</p> <p>「くじらぐも」に乗って空を旅する様子を吹き出しを入れて想像を広げながら読むことができる。</p> <p>「くじらぐも」と子どもたちとの別れの様子を吹き出しを入れて想像を広げながら読むことができる。</p>	<p>くじらぐもに宛てた手紙を文字の間違いなどに注意して分かりやすく書いている。</p>

#### < 4 > 単元指導計画

時	ねらい	学習活動	評価規準	評価方法	指導・援助
1	「くじらぐも」のお話を聞き、興味を持って読もうとする	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 題名を読む。</li> <li>2 今までに見たことのある雲を思い出す。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">「くじらぐも」のお話を聞き、思ったことを発表しよう。</div> </li> <li>3 教師の範読を聞く。</li> </ol>	「くじらぐも」に興味をもち、教師の範読を聞いたり、簡単な感想を持つたりすること	<p>観察</p> <p>&lt;楽しんで読もうとしているか態度・表情で評価する。&gt;</p> <p>ノート</p> <p>&lt;気付いたこと、わかっ</p>	

	<p>ことができる。</p>	<p>4 教師について読む。 5 気付いたこと、わかったこと、考えたこと、不思議だなと思ったことなどをノートに書く。 6 書いたことを発表する。</p>	<p>ができる。</p>	<p>たこと、考えたこと、不思議だなと思ったことを書いているか内容で評価する。 &gt;</p>	
2	<p>「くじらぐも」の設定及び話の流れをつかむことができる。</p>	<p>1場面の最初を音読する。 いつ、どこで、だれが出てくる話かをつかむ。本時のめあてを作る。</p> <p>「くじらぐも」のお話を聞き、挿絵を並べかえてみよう。</p> <p>挿絵をランダムに並べ、話の流れに合うように並びかえる。 並べたわけを発表する。 話を聞き、順序を確かめる。 ノートに挿絵を貼る。</p>	<p>いつ、どこで、だれが出てくる話であるか分かる。挿絵を操作し、話の流れをつかむことができる。</p>	<p>発言 &lt; 叙述に即しているか発言内容で評価する。 &gt; 観察 &lt; 挿絵が話の流れに合っているか挿絵の順序を見て評価する。 &gt;</p>	
3	<p>「くじらぐも」と子どもたちの体操場面を動作化しながら読みとることができる。</p>	<p>1場面の挿絵を見て、気付いたことを交流し、本時の課題を作る。</p> <p>子どもたちといっしょに、たいそうをするくじらのようすをよみとろう。</p> <p>子ども役とくじら役に別れ、体操する様子を動作化しながら読んでいく。 (動作と言葉、叙述と結びつける。) &lt; ~も、のびたりちぢんだり、しんこきゅう、かけあし、まわれ右、「あのくじらはきっと学校がすきなんだね」 &gt;</p>	<p>1場面を音読する。</p> <p>子どもたちと子どもたちのまねをして体操をするくじらの様子を動作化し、叙述と結びつけながらとらえ、学校が好きだととらえたくものくじらの様子を想像を広げて読むことができる。</p>	<p>観察・発言 &lt; くじらが子どもたちのまねをしていることに気付いたかを発言・動作によって評価する。叙述に結びつけて動作化したり、想像を広げて読んだことを動作化した様子見て、評価する。 &gt;</p>	
4	<p>「くじらぐも」と子どもたちが呼び掛け合う場面を動作化しながら読みとることができる。</p>	<p>2場面の挿絵を見て、気付いたことを交流し、本時の課題を作る。</p> <p>くじらと子どもたちがさそいあうようすをよみとろう。</p> <p>子ども役とくじら役に別れ、誘い合う様子を動作化しながら読んでいく。 &lt; 2つの「ここ」は同じ場所か考える。はりきりました。 &gt; 子ども役とくじら役を交替しながら、読む。</p>	<p>「くじらぐも」と子どもたちが呼び掛け合う様子を動作化し、位置関係をとらえ、役割読みを楽しむことができる。</p>	<p>観察・発言 &lt; 「おうい。」などのやりとりが空と運動場の間で行われていることが分かったか動作化・発言で評価する。その感じをとらえているかを役割読みの中の様子で評価する。 &gt;</p>	
5	<p>子どもたちが雲のくじらに飛び乗ろうとする場面を動作化しながら読み</p>	<p>3場面の挿絵を見て、気付いたことを交流し、本時の課題を作る。</p> <p>くじらにとびのろうとする子どもたちと、おうえんするくじらのようすをよみとろう。</p> <p>子ども役とくじら役に別れ、ジャンプす</p>	<p>子どもたちが雲のくじらに飛び乗ろうとする場面を動作化しながら捉え、3回出てくる「天まで...」と応援する</p>	<p>観察・発言 &lt; 子どもたちが雲のくじらに飛び乗ろうとする場面で3回出てくる「天まで...」と応援するくじらの「もっとたかく...」を声の大きさなど工夫して読むことができ</p>	

	とることができる。	る様子を動作化しながら読んでいく。 <天までとどけ、一、二、三。><もっとたかく。もっとたかく。> 子ども役とくじら役を交替しながら、読む。	くじらの「もっとたかく…」を声の大きさなど工夫して読むことができる。	ているか観察して評価する。>	
6	「くじらぐも」に乗って空を旅する様子を、吹き出しを入れ想像しながら読みとることができる。	4場面の挿絵を見て、気付いたことを交流し、本時の課題を作る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">くじらにのって空をたびする子どもたちのようすをよみとろう。</div> 4場面を音読する。 挿絵を見て、海、村、町、に見えるものをもとにしながら、吹き出しを考える。子ども役とくじら役に別れ、旅をする様子を動作化しながら吹き出しをいれて読んでいく。 子ども役とくじら役を交替しながら、読む。	「くじらぐも」に乗って空を旅する様子を挿絵をもとに吹き出しを入れながら、想像を広げて読むことができる。	観察・発言 <挿絵の中で気付いたことの発表内容から評価する。> 吹き出し <空から見えるものや思ったこと、子どもの気持ちなど想像を広げて読んでいるか内容で評価する。>	
7	「くじらぐも」と子どもたちの別れの様子を吹き出しを入れて想像しながら読みとることができる。	5場面の挿絵を見て、気付いたことを交流し、本時の課題を作る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">くじらとおわかれする子どもたちとのようすをよみとろう。</div> 5場面を音読する。 子ども役とくじら役に別れ、別れる様子を動作化しながら読んでいく。 吹き出しによって子どもたちが言う「さようなら」の後にくる言葉を考えそれを入れて動作化する。 子ども役とくじら役を交替しながら、読む。	「くじらぐも」と子どもたちとの別れの様子を挿絵をもとに吹き出しを入れ、想像を広げて読むことができる。	観察・発言 <挿絵の中で気付いたことの発表内容から評価する。> 吹き出し <「さようなら」をした時、子どもたちが思ったこと、何を言いたいかなど想像を広げて読んでいるか内容で評価する。>	
8	お別れした「くじらぐも」は今頃何をしているか思っているかを想像し、お礼のお手紙を書くことに興味をもつことができる。	お別れして「くじらぐも」は今頃何をしているか想像する。 本時の課題を作る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">みんなで「くじらぐも」にお礼のお手がみをかこう。</div> 楽しかった場面を絵に描く。 描いた絵を紹介する。	「くじらぐも」にありがとうを伝えるために手紙を書こうとしている。「くじらぐも」と遊んで楽しかった場面を見つけようとしている。	発言・観察 <「くじらぐも」は今頃何をしているか、何を思っているかを想像できているかを観察し発言内容で評価する。> 絵 <楽しかった場面を自分で決め、絵を描いているか絵とつづやきなど態度の観察で評価する。>	
9	描いた場面の絵に	課題を確認する。	描いた場面の絵にもとづい	手紙 始めの言葉（お礼の言	

	もついで、手紙を書くことができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>みんなで「くじらぐも」におれいのお手がみをかこう。</p> </div> <p>とにお手紙を書く。</p>	描いた絵をも	て、「始め・中・終わり」を意識して手紙を書くことができる。	葉) 楽しかったこと・、終わりの言葉を意識して書いているかを内容で評価する。 >	
10	書いた手紙を読み返し完成することができる。	<p>課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>みんなで「くじらぐも」におれいのお手がみをかこう。かんせいさせよう。</p> </div> <p>み返そう。 字のまちがいなどを探して直そう。 丁寧に清書しよう。 書いた手紙を紹介する。 感想発表する。</p>	書いたお手紙を読	書いた手紙を読み返している。 文字の間違いに注意して分かりやすく丁寧に書いている。	<p>観察 &lt;読み返しているか、間違いに気付いているか、正しく直しているか、丁寧に書いているかなど観察し評価する。 &gt;</p> <p>手紙 &lt;完成した手紙の内容で評価する。 &gt;</p>	

< 5 > 本時のねらい(本時 6 / 10)

子どもたちが「くじらぐも」に乗って空を旅する様子を、吹き出しを入れて想像しながら読みとることができる。

評価規準 「くじらぐも」に乗って空を旅する様子を、挿絵をもとにして(「ふわふわして気持ちがいい」や「やっほー」だけでなく、何が見えるかなどの)吹き出しを入れながら、想像を広げて読んでいる。

< 6 > 机列

< 7 > 本時の展開

過程	学 習 活 動	評 価	指 導 ・ 援 助
導入	<p>・ 4 場面を 1 回よみましょう。 子どもたちが乗っているくじらぐもは、どこをすすんでいきましたか。 (あおい あおい空のなか) あおいと あおいあおいとは 同じですか。 (ちがいます) どんなふうに 違いますか。 (「あおいあおい」のほうがもっと青い) (「あおいあおい」のほうが青が濃い) など くじらぐもは子どもたちを乗せて、どんなふうにすすんでいきましたか。 (げんきいっぱいすすんでいきました。) 本時の課題をつくる。</p>		<p>・ 掛図を提示し、青い青い空を元気いっぱい進んでいく「くじらぐもと僕たち」という場面をイメージし易くする。 ・ 「あおいあおい」という言葉の意味から、「くじらぐも」のいる空の青さをつかませたい。 ・ 「元気いっぱい」を押さえ、終末の音読に生かしたい。</p>
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>くじらぐもにのって、あおいあおい空のなかを、げんきいっぱいすすんでいく子どもたちのようすをよみとろう。</p> </div> <p>めあては 子どもたちの様子を考えて、吹き出しに書こう。 書いた吹き出しを元気いっぱい読もう。</p> <p>です。</p> <p>・ 4 場面をもう一度音読しましょう。 くじらはどこへいきましたか。</p>	<p>&lt; エー &gt; 「くじらぐも」に乗って空を旅す</p>	<p>・ めあては &lt;吹き出しの数、 : 2つ、花 : 3つ以上 文の数 : 1文、 : 2文、花 : それ以上 &gt; &lt;花 : 元気いっぱい 読んだ。 &gt;</p>

<p>終末</p>	<p>(うみ、むら、まちのほう)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海・村・町は挿絵のどこですか。挿絵を指さしましょう。(海は絵の下の方、村はいなかで家が集まっているところ、町は家がたくさんあるところ)</li> <li>海・村・町をながめてみましょう。(動作化)見えたもの、気付いたこと・思ったこと・考えたことを発表しましょう。</li> <li>(海：船が見える。港に帰ってきている。さかながいると思う。</li> <li>(村：ハウスがある。畑がある。赤い屋根のうちがある。トンネルがある。</li> <li>(町：ビルがたくさん立っている。電車も走っている。看板みたいなものもある。</li> <li>挿絵の中の子になってみましょう。</li> <li>どの子になったかな。なりたい子を指でおさえましょう。その子になってみましょう。となりのお友達や先生に、どんな話をしたと思いますか。発表しましょう。</li> <li>(先生、ふわふわして気持ちいい。が見えるよ。等)</li> <li>吹き出しに書きましょう。</li> <li>書いた吹き出しを4場面の中に入れて音読しましょう。</li> <li>げんきいっぱいの声で音読しましょう。</li> <li>今日の授業を振り返りましょう。</li> <li>子どもたちの様子を考えて吹き出しに書けましたか。</li> <li>吹き出しを元気いっぱい発表できましたか。</li> <li>感想があれば発表しましょう。</li> </ul>	<p>る様子を挿絵をもとに吹き出しを入れながら、想像を広げて読むことができる。</p> <p>&lt;方法&gt;</p> <p>観察・発言</p> <p>&lt;挿絵の中で気付いたことの発表内容から評価する。&gt;</p> <p>吹き出し</p> <p>&lt;空から見えるものや思ったこと、子どもの気持ちなど想像を広げて読んでいるか内容で評価する。&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海・村・町の言葉の意味を厳密に押さえるのではなく、挿絵と結びつけるという方法で、叙述に即して読ませたい。</li> <li>雲の上からながめる様子を動作化させる。</li> <li>たくさん意見を出させたい。見えるものだけでなく、想像を広げて発表した子を価値付けたい。</li> <li>どの子になったかを決め、友だちや先生に話しかけることを想定することで、吹き出しに書き易くする。</li> <li>くじらぐもの台詞と地の文は教師が読む。掲示等で、空を進んでいくくじらぐもをイメージし易くする。</li> </ul>
-----------	---	---	--

< 8 > 「読むこと」に関する、段階表

「話のあらすじを捉えること」は  
どの教材においても基礎事項として必ず扱う。

1 学期

**はなのみち**  
挿絵をじっくり見て場面の様子など  
について想像を広げて読む

**大きなかぶ**  
分担された登場人物になって簡単な  
劇をしながら(吹き出しを入れて) 場  
面の様子を、叙述に即して想像を広げ  
ながら読む。

**くじらぐも**  
挿絵を手がかりにしてイメージを  
膨らませ、叙述に即して読みを深め  
る。また逆に、役割読みを取り入れ  
て音読したり動作化したりすること  
で、場面の様子をより豊かに想像さ  
せる。

語や文としてのま  
とまりや内容、響き  
などについて考え  
ながら声に出して  
読む。

**おむすび ころりん**  
音読によってリズムのおもしろ  
さを味わいながら、場面の様子を、  
挿絵だけでなく少しずつ言葉に結  
びつけることで、想像を広げなが  
ら読む。動作化も取り入れる。

**ずうっと、ずっと、大すきだよ**  
挿絵に描かれた登場人物の様子  
や表情から、その場面の人物の心  
情を想像し、叙述によって確かめ  
ていく。

**あるけ あるけ**  
繰り返しのリズムのおもしろ  
さ、言葉の響きなどを考え、音読  
を楽しむ。

**たぬきの糸車**  
場面の様子を、挿絵をたよりに叙述にこだわり  
ながら読みとり、おかみさんやたぬきの心情を紙  
芝居などで表現する。

2 年生

